

アール

～（女性建築士の輪）～

奈良県建築士会 女性委員会
2013年 夏号
第75号



五條新町の瓦屋根

目 次

- | | | |
|---------------|--------------------------|------|
| ■ 平成25年度 通常総会 | 宮崎 眞友美 | 1ページ |
| ■ 本年度の活動について | 山本 規子 | 3ページ |
| ■ 私と建築 | 武市 啓子 | 4ページ |
| ■ 新会員紹介 | 星山 美由紀
野村 厚子
三谷 由香 | 5ページ |
| ■ 今後の事業予定 | | 7ページ |

平成25年度
通常総会

講師 三井所清典(公社)日本建築士会連合会会長
記念講演テーマ 『建築の文化的意味と保全について』

「ゆとりを持って判断するといいなあとと思うんです。」
「自宅でもてなすとお客様は喜んでますよ。そういう建物をつくりましょうよ。」
「欠点が一つだけあるんですよ。あまりにも馴染んでるからこの前通り過ぎちゃいましたよ。…って、これ褒め言葉だったんです。」

（公演中の三井所会長のお話しより）



三井所会長様、この度はお忙しい中ご足労いただき、誠にありがとうございました。奈良県建築士会にとって記念すべき大切な日となりました。私達は、～誇りのもてるまちへ～を基本方針として活動を続けてまいります。またぜひ奈良までお越しください。奈良県建築士会のためにお力添えください。心よりお待ちしております。



上：三井所清典（公社）日本建築士会連合会会長 下：女性会員の記念写真

平成25年度通常総会、記念講演および懇親会が開催されました。

日時 2013年5月23日（木）
＜第1部＞総会 午後2時45分～午後3時30分
会場 奈良県文化会館2階小ホール

午後2時45分、西崎嘉一事務局長の司会で開会し、冒頭、物故者に対し黙祷を捧げました。続いて福本良平会長から開会挨拶があり、平成25年4月に一般社団法人へ移行したことの報告、会員の協力

により本総会が開催できたことへの謝辞と、奈良県建築士会を益々魅力あるものとするため会員への更なる理解と協力を求められました。会長挨拶ののち、西山恵三奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局建築課長からご祝辞をいただき、これまでの奈良県行政の推進への協力に対する謝辞と、今後の施策への更なる協力要請がありました。次に、ご臨席いただいた同西山恵三建築課長と梶岡優光建築課長補佐の来賓紹介があり、続いて議長の選出に移り、仁田晴夫会員（郡山支部役員）が選出されました。議長が登壇し、自己紹介ののち、事務局から、現在の会員数が1,060名で、本日の出席者69名、委任状預り分が488名、合計557名となり総会成立の定足数に足り、この総会が成立する旨が告げられ、議事に入り、次記事項が異議なく了承可決されました。

（議案の審議承認事項）

第1号議案：平成24年度事業報告について

第2号議案：平成24年度決算について

第3号議案：平成25年度運営方針及び事業計画

第4号議案：平成25年度予算について

次に、平成25年度新規終身会員5名の方々の報告並びに表彰があり、福本会長から当日ご出席の野田秀雄会員（奈良支部）と柏原功司会員（天理支部）へ賞状及び記念品が授与されました。

<第2部> **記念講演**午後3時50分～午後5時25分
会場 奈良県文化会館2階小ホール

午後3時50分、記念講演「建築の文化的意味と保全について」をテーマに、(公社)日本建築士会連合会会長・(一社)東京建築士会会長・芝浦工業大学名誉教授・(株)アルセッド建築研究所代表の三井所清典氏よりご講演をいただきました。もの静

かで上品な語りで、建物にはひとつひとつ物語があり、生活に関わる様々な文化的側面を考えることや、地域とのコミュニケーションを取ることがとても大切であることなど、積年の建築における文化的意味と保全についての研究の蓄積が、実際に設計に携わった建築物等を題材に分かりやすく語られ、会場の方々は熱心に耳を傾けていました。

講演後の質疑・応答では、岩城由里子女性委員会副委員長から「建築物の老朽化や建替え時期等の判断基準について」の質問があり、三井所会長からは、敬意を表す「リスペクト (respect)」が大切で、ゆとりを持って判断することが重要であることなど、ご丁寧にお答えいただき、その内容だけでなく、お人柄にも感銘を受けました。

<第3部> **懇親会** 午後5時30分～午後7時
会場 奈良県文化会館2階集会室AおよびB

記念講演終了後、会場を隣接する集会室AおよびBに移し、合計79名の方々にお集まりいただき、懇親会が開催されました。奈良県をはじめ関係機関の方々、西浦重明(一財)なら建築住宅センター理事長、ご講演いただいた三井所連合会会長、岡本森廣(公社)大阪府建築士会会長ほか錚々たる来賓の方々にご臨席いただき、しばし愉快的な歓談の時間を過ぎました。会場は大いに盛り上がり、午後7時、宴もたけなわの中、井上慶治副会長の中締めの後、閉会しました。

女性会員の総会出席者数は計11名。総会と講演会の間には談笑や今後の女性委員会の方針についての話し合い、記念講演後は女性会員の記念撮影も交え、盛り上がり、親睦を深めることができました。

(記 宮崎眞友美)



総会の様子



記念講演の様子



懇親会の様子

『 本年度の活動について 』

山本 規子



女性会員の皆様、委員長の山本です。

皆様もご存知の通り、奈良県建築士会は、今年度から一般社団法人となり、新たな組織体制で事業に取り組むこととなりました。

女性委員会の本年度の活動は、

近建女対応：近畿建築士会協議会女性部会の各行事に参加、協力

企画部会： 3部会合同見学会*
新年懇親会
1日見学会

広報部会： フープの発行
グループメール等の管理
女性委員会の広報パンフレットの作成

研究部会： ユニバーサルデザインに関する講演会、見学*
「和室」に関する見学会、勉強会

*刊末の行事予定を参照してください。

となっておりますが、他にも面白い企画があれば、柔軟に対応していきたいと考えています。

特に本年度からは、建築士会の内部だけの研鑽ではなく、より公益性の高いものを求められています。昨日参加してきました、全建女の委員長会議の冒頭で、連合会の遠藤副会長のお話の中に、「20数年前、自分が青年委員会に所属していた頃にも 女性委員会、町づくり委員会と共に集められて、会員増強の施策を話し合っていました。登録更新の制度化を進めるといった政治的な方法だけでなく、建築士会の活動を社会に知らしめ、役立ち、信頼される組織として広く認められることが会員増強に繋がるのではないかと発言した記憶があります。女性委員会の活動は、まさにその道筋に沿ったものだと思います。」という言葉がありました。現在、残念ながら奈良県

では、女性委員会として継続的に社会に向けての活動がなされているとは言えません。多分に委員長の力不足のせいですので、お詫びを申し上げると共に是非皆様のお力添えをお願い致します。女性会員の皆様が日々仕事や生活をされている中で、建築士として社会にもとめられていると感じられることや、一人ではなく、大勢で取り組めばもっと面白くなるようなことはありませんか。今はやりのつぶやきで結構ですので、お気軽にご意見、情報をお聞かせください。

また、お願いばかりで申しわけありませんが、この機関誌「フープ」は、奈良県の女性建築士の活動報告だけでなく、皆様の仕事紹介など様々な情報を掲載しています。

編集担当から記事のご依頼がありましたら、是非お引き受けください。ひとりでも多くの方が、フープ（輪）に参加していただくことで、より大きく強い輪になっていくことは間違いありません。

現在奈良県建築士会の女性会員の数は90名余りです。うれしいことに、3名の方が新しく仲間に加わっていただきました。（この後の記事でご紹介されています。）

皆様が建築士会に入られた時、求めているものはなんでしょうか。スキルアップするための情報でしょうか。興味をもった課題に対する学びの機会や、共に研鑽する仲間でしょうか。

ひとつ確実にいえることは、求めるものが何であれ、活動に参加していただいてこそ得られるということです。思いもよらないものも手にはいるかも知れませんね。

本年度もよろしくお願い致します。





建築というテーマが大きすぎて、一体何を書いたらいいのやら???

でも、私が建築を目指した時から、ずっと続いている思いがある。それは、人の役に立ちたいという事。もともと、人の役に立ちたいという思いは小さい頃からありました。人の役に立つことで、自分を認識すると言う性格でした。どちらか

というと、サブ（サイドから補佐するのが得意）のほうに向いていると思います。そのほうが全体像がよく見えるということもあります。

こんな私が、女性委員会で、ユニバーサルデザインの提案をしたときから、こんなにも長くユニバーサルデザインに付き合うことになるとは・・・。

女性委員会皆さんのトイレに関する思いを聴いていくうちにこれは、私一人の問題ではなく、みんなの問題なんだとの思いが原動力になったんだと思います。ユニバーサルデザインの建築を目指してートイレ編と、外部空間編。

ずいぶん時間がかかりましたが、周りの皆さんの協力で何とか作り上げることができました。

今ではライフワークかも知れません。どこに出かけても、だれでもトイレが気になるし。ちょっと覗いて設備のチェックなどしてしまう???

又この冊子を通じて、いろんな人と知り合うことができました。例えば視覚障害の方からは、目が見えないということは、その他の感覚が鋭くなるということ、私も実際に目隠しをして階段やスーパーの中を手引きしてもらいながら歩き、肌に触れる空気や温度の変化（冷蔵ケースの前ではひんやりとした空気又匂いを感じ、風の流れて、自分が階段室の前にいると感じたり）、本当だと思いました。またオストメイトの方には、非常に大切なこと（人間として、思いをめぐらせることの重要性）何が大変なのかを教えていただきました。

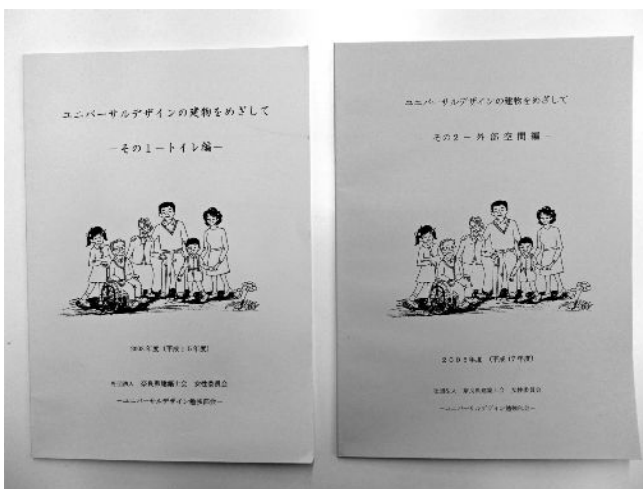
建築にかかわるということで、実際に使う人の気持ちにどこまで寄り添うことができるのか?いつも勉強させてもらっています。

新たな課題も見えてきています。だれでもトイレを作ったのはいいが、ハードの面は、できていてもそれを使用するためのソフトの面がまだ行き届いていません。だれでもトイレの前に健常者と車椅子の人が同じように、並んでいる光景があります。健常者は、一般のトイレも使用できますが、車椅子の人はそのトイレしか使えないのです。まだまだやることはいっぱいあります。

天理市障害者施策検討委員会に入り、社会的弱者である障害を持った人達に対する施策に対して話し合いをする機会をいただきました。ユニバーサルデザインでやってきたことが、少しでも役に立てばいいと思っています。障害を持った人達の気持ちに寄り添うことができればと思っています。

今現在、ホームセンターとWワーク状態ですが、今年、DIYアドバイザーの試験を受けるため勉強中です。この年で受けるのも何ですが・・・。電動ドライバーや、ねじのこと、塗料の特性、接着剤のこと、電材のこと、知らないことが多いです。でも、結構楽しいです。

私にとって建築は、生活すること全てに関係しているみたいです。高校1年生の時に建築を目指してから、建築を通して物を考えてきました。建築をやり



新会員紹介

ながら4人の子育てをしました。保育園、小学校、中学校、高校と役員をしながら、中学校では、図書館増築のために役所と意見を交わし（あくまでも中学校の役員として）、生協の店舗ではトイレの改修の図面を引き、別の生協の店舗では、だれでもトイレのチェックをし、何でも首を突っ込んでしまう、こんな私です。

でも、社会的弱者である、女性、子供、高齢者、障害を持つ人たちにこそ、建築はやさしくあるべきだと思っています。

何でも納得できるまでやらないと気がすみません。

こんな性格です。しかも、それが結構時間がかかります。

周りの人に、迷惑かけないように頑張っていますが、さてどうでしょうか？

これからもよろしくお願いします。



星山 美由紀さん

今回、御縁あって入会させていただきました星山です。

夏というと花火や海、かき氷を思い出すのが普通かと思うのですが、近年のように暑い夏は建築士受験を思い出します。

焦りと不安で泣きながら鉛筆を握りしめて製図板にむかったこと。本番の試験では奥行きが小さい机のせいか製図板設置がうまくいかず、グラグラ揺れまっすぐ線が引けず頭が真っ白に！「今年の夏ももう終わったわー残念やわー」と絶望しましたが、すぐさま「ここまでやってきたのに今までの努力分は出さず出し切ろう！」と自分を奮い立たせました。しかし、すぐ2回目の絶望に襲われました。課題文の読み違いで階段が二個いることに気付き、消しゴムを握りしめ、消し消しして無理やり追加の階段をつくったのでした。

そんなことさえも合格が決まった今では良い思い出です。

これから受験する方には「あきらめないで」とアドバイスしたいです。（受験太りを解消する方法をアドバイスしてほしいです。）

子供の頃、引っ越しがあり、モデルルーム巡りをきっかけに絵や洋服を見るように建築物を見るのが好きになりました。

仕事柄、色々な図面を見たりしますが、そんなこんなで二級建築士取得に成功したものの、迷いや不透明点は多いです。

建築士会は第一線で活躍されているプロの方が多くと聞きまして、色々な知識や情報を自分なりに消化できたらいいなーと思い入会いたしました。

宜しく願いいたします



野村 厚子さん

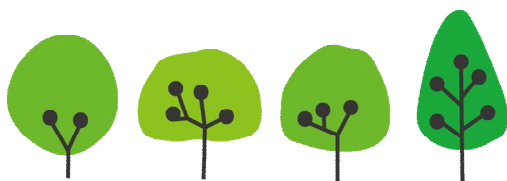
はじめまして。今年度から仲間入りさせて頂きまして野村厚子(60歳、B型、かに座、北海道出身)です。

平成23年2月末、何か資格でも…と総合資格に行くと、「その就業歴なら二級建築士の受験資格有りますよ」って言われ、「えーっ」でしたが、丁度学費分程のヘソクリがあったので思い切って勉強することに…。すでに授業が中盤ほどまで進んでいたのにパニック状態になりながら、何とか一次、書きまくって二次と、貴重な体験を味わいました。

工務店で働くなかで、住宅模型作り・小庭を仕込んだり、建具や取付家具のデザイン・レイアウトなどや、現場や工場では手伝い作業や加工作業などをしてきました。

現在は時々現場のお手伝いをしたり、今月から超苦手なパソコンに電源を入れるところから始めています。Jw cadを攻略出来るかが当面の目標?です。

アナログお婆さんの過酷な戦いを見守って戴ければ……。



三谷 由香さん

今年度より入会させて頂きました三谷と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私が建築に興味を持ち、建築の仕事に携わりたいという気持ちになったのは、営業事務として3年勤めた後、再就職先を探しながらポリテクセンター奈良に通ったのがきっかけでした。ポリテクセンター奈良でインテリアコーディネータの講座を受け、設計の仕事に関わりたと思うようになりました。そして講座履修後、建築関係の会社でアルバイトや派遣ではありましたが、設計補助をしてきました。

ポリテクセンター奈良で講座を受講していた時は、建物を単体としてしかみていなくて、建物の中だけで使いやすい間取、生活しやすい間取がどんなものかを考えていました。現在の職場で働くようになり、建物内部と外部とのつながり、隣家との関係がより良い生活空間には大切であることを学びました。また、大きな分譲地などでは道路の位置や形状、公園の位置等にストーリーがあり、意味をもたせたまちづくりがされているものもあることを知りました。今は『建築』とはただ構造物を造るだけではなく、庭や周辺環境も含めた住空間、生活空間を創り出すことなのだと感じています。

二級建築士の合格祝賀会に参加させて頂いたことで、建築士会の活動を知り、入会させて頂くことになりました。建築士会が開催されている講習会や見学会など、とても興味深く、時間の許す限り参加させて頂きたいと思います。

まだまだ知識も経験も浅いですが、建築士会入会を機に、多くの方と出会い、いろんな経験を積んで視野を広げ、成長し続けていきたいと思っています。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。

今後の事業予定

- 8月10日(土)
琵琶湖ペーロン
※ご興味のある方は、山本委員長または本保さんに連絡してください。
※予備日 8月11日(日)
- 8月21日(水)
公園で遊ぼう!自然観察会《青年委員会》
- 8月24日(土)
『高齢者向け施設セミナー&見学会』
TDY 大阪コラボレーションショールーム
(YKKAP・TOTO・DAIKEN)
※ 詳細は、チラシにて。
- 8月27日(火)
2級建築士学科試験合格発表
- 8月30日(金)
理事会(奈良県建築士会館)
- 9月 7日(土)・8(日)
3委員会合同見学会『初秋の美を巡る信州旅』
(重伝建地区海野宿・千住博美術館・懐古園・軽井沢タリアセン他)
※ 詳細は、チラシにて。
- 9月 7日(土)
万葉まつり《青年委員会》
- 9月10日(火)
1級・木造建築士学科試験合格発表
- 9月14日(土)
三重県建築士会交流合同見学会《青年委員会》
- 9月15日(日)
2級建築士設計製図試験(奈良大学)
- 9月25日(水)
ならすまいアップセンター住宅相談
(奈良県建築士会館)
- 10月13日(日)
1級・木造建築士設計製図試験(畿央大学)
- 10月19日(土)~20日(日)
全国大会(島根大会)
- 11月27日(水)
ならすまいアップセンター住宅相談
(奈良県建築士会館)
- 12月 5日(木)
2級・木造建築士設計製図試験合格発表
- 12月 7日(土)
近畿建築祭(大阪)
- 12月19日(木)
1級建築士設計製図試験合格発表

～編集後記～

この号より編集を担当させていただきます渡邊有佳子と申します。前年から引き続き担当の庄田さんに教わりながら、頑張っただけです。いつも楽しく読ませていただいていた「読者」という立場から、「編集」という立場に変わり、作る楽しさも体験できることをうれしく思います。

皆さんに楽しく読んでいただける紙面づくりをしていきたいと思っておりますので、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

(渡邊有佳子)